

テーマ

## 子どもと共に育つ地域 夢よはばたけ！

目標

- 子どもたちが地域の一員として地域の行事などに参加し、その中で自分の役割を考える機会を増やす。
- 地域の人材を確保し、子どもたちに様々な体験ができる機会を作る。
- 地域の大人が子どもたちの成長を楽しみながら支援し、子どもを核とした地域に発展させていけるような取り組みを行う。

## 今年度の取組紹介

富雄中学校区内の鳥見小学校、富雄北小学校、富雄中学校それぞれの校庭で行われる地域の夏祭りでは、地域と学校の連携がより一層すすみ、子どもたちが活躍できる場が増えてきています。

幼小中へと育まれてきた子どもたちの「ボランティア精神」は校区内外で発揮されています。鳥見地区の「ラジオ

体操」では中学生ボランティアによる第2体操の見本、「茶道部」「ボランティア部」「囲碁将棋部」による高齢者施設への訪問、また学区ブランド産品「富より団子」や「エコ石けん」によるチャリティー活動は小学校、中学校ともに様々な場面で活用されています。



「防災教育活動」では地域からの大きな支援を受け、富雄中学校と富雄北小学校において『かまどベンチ』が子どもたちと共に製作されました。



## 今年度のまとめ

今年度8月の「夏期研修会」では教職員と地域が一堂に会し、地域と学校の連携・協働の一層の進め方について学ぶことができました。

キャリア教育、学習支援、環境整備など様々な取り組みに於いて教職員と地域コーディネーター、ボランティアが交流し、連携が図られている様子がみられるようになりました。

## 来年度に向けて

校園ともに取り組みは充実し、地域からも多くの支援を受け、教職員との連携も進んでいる状態がありますが、コーディネーターの負担に偏りがあり、適切な配置と増員の検討をする必要があると考えます。

広報についても今年度は思うように進められなかったもので、校区らしい広報の在り方について考えていきたいと思っています。

テーマ

**子どもと共に育つ地域 夢よはばたけ！**

～小中一貫・防災・キャリア教育の推進～

目標

- ① 幼小中の連携・小中一貫教育の推進
- ② 防災意識の向上
- ③ キャリア教育の推進（「富より団子」の販売促進・進路面接指導など）
- ④ 環境整備
- ⑤ 学力補充
- ⑥ 図書室地域開放

## 今年度の取組紹介

- ・今年度の取り組みとして、防災の意識向上と地域の防災拠点としての役割を意識し、地域の協力の下、かまどベンチの設置を行い、地域の方々をお招きし、試し炊きを行いました。  
その他にも、地域のお祭りの中でバケツリレーを実施するなど、防災の取り組みを行いました。
- ・図書室の利用向上を目指し、より本に興味を持ってもらうため、地域の方々および大学生に協力いただき、ビブリオバトルを実施しました。初めての取り組みでしたが、生徒を含め参加した皆様から好評を得ることができました。



## 今年度のまとめ

- ・地域教育協議会の活動は大変充実しており、コーディネーターの学校に対する理解のある、献身的な取り組みにより、学校間との共通理解と協力の下、生徒や保護者も含め地域を巻き込んだ様々な支援が本当にスムーズに進められました。
- ・職場体験学習に向けて年度当初に計画や運営について、年度末には総括を地域コーディネーターと教職員とで綿密な打ち合わせを行い、しっかりとしたPDCAサイクルが構築できており、次年度にしっかりと課題改善して反映させています。また、各種活動での地域連携を含めた円滑な運営に携わっていただくことで教職員の大きな負担軽減になりました。
- ・本校の特色であるコーディネーターのご指導によるボランティア部の活動の充実が、地域を巻き込んだ活動や小中一貫教育を推進する原動力の1つとなっています。

## 来年度に向けて

「地域の協力があってこそその学校」ということを、地域教育協議会との関わりを深めて行く中で、より強く感じています。このことをより深化・発展させること、そして、より綿密に連携を深め、協働することで、小中一貫教育や幼小中連携のリーダーシップを発揮し、将来的に地域に返していくことが目標です。

また、学習支援や環境整備、地域連携、キャリア教育、地域防災訓練などを継続・発展させていくことや、地域に開かれた学校を、地域の方々とともに創り上げ、目標達成のために努力をしていきたいと考えています。

テーマ

## 子どもと共に育つ地域 夢よはばたけ！

## ～育もう！育てよう！学校・地域・家庭の連携～

目標

- ①地域の人材や保護者ボランティアを活用した体験型学習の充実
- ②読み聞かせ活動や体力アップ活動、見守り活動の充実を図り、学校に足を運んでいただく回数を増やす。
- ③幼・小の連携と小中一貫教育の更なる推進。

## 今年度の取組紹介

- ・ターミナルタイム（集団登下校班での話し合い）の時間に、いつも登下校を見守ってくださっている地域のみなさんとともに、「自分の命は自分で守る」をめあてとした安全マップ作りをしました。通学路や校区の「安全の家の旗」・「交通安全」・「防災」・「防犯」の観点（観点は学年による）で夏休みにおうちの人と一緒に調べ、気づいたことを子どもたちは、友だちや地域の人に発表しました。また、子どもたちが調べたワークシートをもとに、学校、保護者、地域がそれぞれ内容を分析し、安全な登下校について三者協働で取り組むことができました。子どもたちにとっても、しっかりと危険ポイントを見つけ、さらに子どもの気付かない大人目線での情報も得られ、「自分の命は自分で守る」ための地域の安全を確認するいい機会になりました。
- ・富雄地区社会福祉協議会をはじめとして、地域のたくさん方の協力を得て、6年生は「車いす」「高齢者疑似装具」「アイマスク」を使っての福祉体験学習を行いました。アイマスク体験では、子ども同士ではなく、児童とボランティアさんがペアを組み、介助する側・される側の両方を体験し、安心されるサポートにはどんな声かけが良いのかを互いに考えながら取り組みました。また、今年度は体験後、小グループに分かれて、学習で感じたこと、考えたことをボランティアさんを交えて話し合いをしました。子どもも大人も「ともに学ぶ」いい経験ができました。



## 今年度のまとめ

学校だけでは難しい学習内容も、教員とコーディネーターが事前に綿密に打合せを行い、地域ボランティアのみなさんの協力を得ることで、地域に根ざした体験型学習を行うことができました。今年の児童アンケートでは、「地域の人と一緒にする活動は楽しい。」と答えた児童は、低学年で95.5%、高学年で88.7%でした。

また、活動後と年度末に行う、教員とコーディネーターによる振り返り会では、学習後の子どもたちの様子や成果と課題を話し合い、今後、より効果的な取組ができるように検討しています。

また、音楽会に地域ボランティアの方や富雄北幼稚園児を招待し、学校に足を運んでいただく機会を多くし、幼小連携にも取り組むことができました。

## 来年度に向けて

児童の発達段階に応じた体験型学習を行い、「自ら進んで活動しようとする児童の育成」を進めるとともに、そこで出会う「人」「もの」「自然」などから、「富雄を誇りに思う児童」を育てていきたいと思えます。また、小中一貫教育、幼小連携を見据えた活動内容を学校運営協議会や地域教育協議会で計画し、学校、保護者、地域の三者が協働して子どもたちを育てる学校を目指します。

テーマ

**子どもと共に育つ地域 夢よはばたけ！**

目標

文化鑑賞会やゲストティーチャーを招聘するなど多様な人との関わりを通して、より良い人間関係を作り、命と人を大切にし、夢をもって自ら学ぼうとする児童を育成する。

今年度の取組紹介

## ○学習支援ボランティア

- ・家庭科・図工科の学習補助（4年～6年）

たくさんの地域の方に来ていただき、学習補助をしていただき、作業をスムーズに進めることができました。

- ・ならまち探検（3年）

社会科の学習で古都ならの町並みをグループに分かれて、散策しました。地域の方には、各グループに付き添っていただいて安全に活動することができました。

- ・ゲストティーチャー（1年～6年）

劇団の方やゲストティーチャーに来ていただいて、観劇会を行ったり、命に関する学習をしたり、様々な体験活動を行いました。

- ・図書ボランティア

図書室の本の整理や図書室の環境整備をしていただいたり、図書委員会の児童に対して、読み聞かせの指導をしていただいたりしました。



今年度のまとめ

昨年度、鳥見小学校は創立50周年にあたり、地域・保護者・学校が連携して、「鳥見50周年記念祭」を行い、その結果、地域・保護者・学校との繋がりもより強固なものになりました。

今年度は、この繋がりを使って、地域コーディネーターが窓口となり、地域ボランティアの方に多数来校していただき、花植え・木々剪定・伐採などの環境整備や図書ボランティアによる図書の本の整理・修繕、家庭科・図工科の授業補助などに協力していただきました。ボランティアの方や文化鑑賞会、ゲストティーチャーとの出会いを通して、人と出会う喜びや自分を表現する喜びなど様々なことを感じることができました。そして、鳥見地区にたくさんの素晴らしい方がおられることに喜びを感じ、地域を愛し、地域に誇りを持つことができます。

来年度に向けて

来年度は、体験学習事業、環境整備事業、学習支援ボランティア事業、図書活動支援事業、幼小中連携事業、子ども安全見守り事業の6つの事業を中心に取組を展開していきます。今年度と同様にゲストティーチャーを招聘したり、ボランティアの方に来ていただいたり、児童がたくさんの方と出会う1年になるように進めていきます。地域にあるたくさんの人材を学校に集め、児童が人と出会う喜びを感じ、改めて、地域の良さを感じることができるように進めていきます。

テーマ

**子どもと共に育つ地域 夢よ はばたけ**

- 友達の思いや考えなどを感じながら行動できる子どもに -

目標

- 『環境』を通して行う幼稚園教育を土台にして、自分の力で最後までやり遂げ、満足感や達成感を持つ子どもを育てよう。
- 地域の方との様々な体験・活動を通して、地域と共に育ち、富雄の地域を好きになる子どもを育もう。
- 校区内の幼・小・中の連携の推進を図ろう。

## 今年度の取組紹介

・年3回の「絵本の読み聞かせ」では、地域で活躍されている『野の花ぶんこ』の方から、素話や絵本の読み聞かせ、手遊び等、様々な手法によるお話を聞きました。やさしく、感情豊かな語りかけによって、子どもたちは「すごい！どうなってるの？」と驚いたり不思議に感じたり、お話の世界に引き込まれ、想像したり話を聞いたことでの楽しさを感じることができました。

・茶道教室は、地域の方に来ていただき、年3回実施した。初めは、「茶道って何だろう」と思っていた4歳児でしたが、5歳児と一緒に体験し、5歳児のお点前を見たり真似たりすることで茶道について学ぶことができました。3回目は、親子茶道教室を行いました。子どもたちが、保護者に「畳の縁を踏まないこと」を伝えたり、お茶の点て方やお茶のいただき方など、見本を見せ教えたりする姿がありました。2年間通じて体験することで、5歳児は4歳児に、子どもたちは自分たちが学んだことを保護者に伝える姿が見られ、自分たちの経験した日本文化を周りの人に自分の言葉で伝えることにつながりました。



## 今年度のまとめ

- ・継続して地域の方の教育力を活かした事業を行っているため、人とのかかわり、話の聞き方、挨拶の仕方など自分で考えてできるようになりました。
- ・園の様々な活動に多くの地域の方の教育力を借りることで、つながりが深まり協力体制も確立できるようになりました。
- ・様々な活動を通して、感じたことや学んだことを「話したい」「伝えたい」気持ちになり、自分なりの言葉で伝えようとする姿につながりました。そして、自分の思いを伝えることで、相手の思いを聞き、考えながら行動するようになってきています。

## 来年度に向けて

- ・園で実施する様々な活動について、活動内容や日程を知らせ、地域やボランティアの方々に参加を呼びかけます。
- ・保護者や地域の方々に、年度当初に事業の計画を伝えたり、その都度、園だより、園のホームページ、日々の送迎時、保育参観、学級懇談会などで活動内容を知らせ、公開していきます。

テーマ

**子どもと共に育つ地域 夢よはばたけ！**

—様々なひと・もの・こととの出会いを通して—

目標

○幼小中・地域との連携を推進する

○運動遊びを通して、幼児の体幹づくりをする。

○物語や外国文化・お茶など、様々な世界に触れ、豊かな感性を育む。

○様々なもの・ひと・こととの出会いを通して、自ら考え試す力とコミュニケーション力を育む。

## 今年度の取組紹介

## ○ピアノカバーづくり

昨年度から地域コーディネーターの方と相談・計画を行い、今年度、地域の方のご協力で各保育室のピアノカバーの作成を行いました。当日、子どもたちが絵をかいた布を、地域の方が事前に作成しておいてくださったピアノカバーにその場で縫い付けていっていただきました。自分のかいた絵が目の前でピアノカバーとなって出来上がっていくことで子どもたちも自分が参加したという実感を強くもつことができました。また、ミシンの仕組みや裁縫への興味が広がった子どもたくさんいました。出来上がると、歓声が上がり「私の絵あった。」「ずっと僕のかいた絵が幼稚園にあるの嬉しい。」と達成感を味わうことができました。後日、参観日で保護者に自分のかいた絵を誇らしげに紹介する幼児の姿がたくさん見られました。子どもたちは自分たちの絵をピアノカバーにしてくださった地域の方に「すごい！」と尊敬や感謝の気持ちをもつことができる機会にもなりました。



## ○お話の会

地域の読み聞かせグループ「泉のたまご」の方々に年3回読み聞かせをしていただいています。様々な工夫をした読み聞かせで子どもたちはお話の世界に引き込まれていき、話に合わせて子どもたちの表情も変化します。子どもたちにとって心が動く体験の一つとなっています。回を重ねることでメンバーの方々に親しみをもつ子どもが増えてきています。「お話の会」で視聴した内容を遊びに取り入れたり、絵本貸出日に同じ話を見つけて借り、保護者に話したりする姿も見られ幼児の心も生活も豊かになる経験となっています。



## 今年度のまとめ

日頃から、子どもたちに対し温かなまなざしで協力的な地域であり、地域の方々との触れ合いや交流も多くもつことができました。花の植え替えやピアノカバーづくり・触れ合い会等を通して地域の方々と直接触れ合い会話することで、子どもたちは親しみをもつだけでなく、園外でも声を掛け合い地域の方々に見守られていることを実感しています。

## 来年度に向けて

引き続き、小学校以降の学びにつながる心身を育てて行けるような豊かな体験や、園内の環境づくりに地域の方々の力添えを得ながら取り組んでいきたいと考えています。